

工業部会通信

(発行)
相模原商工会議所工業部会

(編集)
かながわ経済新聞社
代表：千葉龍太
〒252-0239
相模原市中央区中央3-12-3
TEL：042 (851) 2021
FAX：042 (851) 3532

プリントしてご自由にお読み下さい。

溶接事業を強化 新規設備も導入

アルミの接合、課題解決

「溶接デパート目指す」

工業会員情報

工業部会の第五電子工業（相模原市緑区橋本台）は、溶接事業を強化する。5月に「ロボット溶接機」を新規導入したほか、今年度中には「ファイバーレーザー溶接機」の導入も計画。水田光臣社長は「『溶接のデパート』のような企業を目指したい」としており、同業他社との差別化を進める。今後は溶接事業の売上高を年間1割ずつ伸ばす方針だ。



第五電子工業の水田社長



導入したロボット溶接機

第五電子は機械、板金加工から溶接、組み立てまで自己完結できる工場体制を構築している。細かな部品や大型装置の組み立ても約1週間に対応できるという。強みは永年ステンレスを中心とした金属加工をしており、半導体製造装置ユニットや電子機器筐体などを製作。取引先企業数は半導体装置業界を中心に110社にのぼる。工場内では徹底した製品検査を行っており、

導入する計画だ。水田社長は「アルミの接合で困っている企業は多い。それを当社で解決できるようにしていく」と説明。現在、本社工場を改修しており、溶接作業のスペースを拡張する考えだ。

ビジネス交流会 3商議所が開催

相模原、町田、八王子の各商工会議所は7月23日の午後3時から同6時50分まで、ホテル・ラポール千寿閣（相模原市南区上鶴間本町）で「広域ビジネス交流会」を開く。相模原、町田、八王子の各企業が、地域の垣根を越えて、新たなビジネスチャンスを生み出すことが目的。

申し込み締め切りは6月20日まで。定員は各地域40人まで。参加費は一人3000円。申し込み、問い合わせは、相模原商議所・総務課042（753）8131。

工業部会所属の横江社長

建荷協の支部長に

県内の建設機械販売業者などで構成される「建設荷役車両安全技術協会・神奈川支部」の支部長に、旭フオークリフト（相模原市中央区田名）の横江利夫社長が就任した。

横江社長は、相模原商工会議所・工業部会と青年工業経営研究会（青工研）所属の40歳。同協会は、トヨタエルアンドエフ神奈川やコマ

ツ建機販売、EHI建機といった大手の系列企業などで組織されており、神奈川支部だけでも会員企業数は200社以上。そのなかで、横江社長は過去最年少の支部長就任となった。

同協会は、建設荷役車両（建設機械など）の整備やメーカー、リース、レンタル業者などで行われる団体。会員企業が協力し、安全確保のため



今後の意欲を語る横江社長

NAプロジェクトの副委員長で、青工研でも現役会員として活躍する。「青工研で学んだことが、今回のように外部の組織でも活かされた。青工研の仲間たちにも、どんどん活躍してほしい」（横江社長）と話している。

コラム

工業人

◎：相模原を国際色豊かな市にするにはどうすればよいのか。最初にやるべきは「外国人誘致」だと考えます。それなら収入や見識を持った外国人の方に市内在勤、在住をしてもらうことです。

◎：市が大使館誘致を優遇する政策を適用する代わりに、その国の一流シェフにも来てもらいます。市民に料理を提供することも企画できます。さまざまな国の人々が集うことで、真の国際交流都市が実現できます。まずは相模原が先頭を切って実践していただきたいとします。

◎：一方、世界には196の国がありますが、日本に大使館を設置できない国があります。都内でもマンションの一室だ



お客さまにご愛顧いただき、八千代銀行は今年、90周年。
感謝の気持ちを大切に、これからもこの街と共に歩んでまいります。



相模原市内に15店舗、12店舗外ATM
融資や預金、資産運用のご相談はお近くの八千代銀行へ

